

別記様式(第5条関係)

令和 3年 4月 30日

南国市議会議長

土居 恒夫 様

議員名

杉本 理

令和2年度政務活動費の収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり

令和2年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

令和2年度政務活動費収支報告書

議員名 杉本 理

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	17,720	研修会参加経費
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	3,800	書籍購入費
合 計	21,520	

3 残 額 98,480 円

(注) ・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

- ・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 杉本 理

整理 番号	1	項目	1. 調査研究費 4. 広聴費	②. 研修費 5. 要請・陳情活動費	3. 広報費 6. 会議費
年 月 日	令和2年8月1日(土)～8月2日(日)、8月8日(土)～9日(日)				
相手方・ 調査先等	第62回「自治体学校」(主催:第62回自治体学校実行委員会)				
場 所	オンライン研修				
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感等 を記入)	第62回「自治体学校」(主催:同実行委員会)に、下記の通り参加いたしました。例年であれば、全国から集まった参加者と講師が顔を合わせて熱気あふれる会になるのですが、今回はコロナ禍ということもあり、オンライン開催ということになりました。大都市部ではない地方議員としては、交通費もかからずに様々な知識が得られて、これはこれでいいのかもしれません。 さて、8月1日(土)午前は、「分科会:公共施設の統廃合、民間委託の現状と対抗軸」と題して、中山徹奈良女子大学教授の講演。総務省が狙う、公的施設の統廃合に対して住民要求の掘り起こしや財政面での論戦の仕方など、南国市議として大いに参考になる講演でした。 午後は、森裕之立命館大学教授による「講座:自治体財政の知識と応用」を受講しました。「日本で1番わかる自治体財政の話です」と豪語されるとおり、お金の出入りをペットボトルを例えにされるなど、わかりやすいお話でした。これを契機に、さらに財政についての知識の蓄積に努めていこうと、あらためて決意をしたところです。 2日(日)は、「講座:権利としての生活保護を考える」(講師:田川英信氏、横山秀昭氏)を受講。元福祉事務所所員であり、またたびたび変わる厚生労働省の方針をよく理解されており、実践的な内容は非常にわかりやすかったです。 8日(土)は、「分科会:全世代型社会保障は何を狙うか 自治体の役割は」(講師:柴田)を受講。全世代型社会保障検討会議の中間報告をもとに、全世代型社会保障転換の真の狙いなどをお話いただきました。財源論や、フルセット自治体からの後退についてなど、非常に勉強になりました。 9日(日)は、「コロナショックと地域経済」(講師:大貝健二氏)を受講。北海学園大学教授である講師からは、特にコロナ禍における北海道経済を、データを示し解説されました。地域経済社会の持続的可能性を維持するために何が必要かなど、地方でできることをあらためて考えさせられました。補講として、石立大助氏(広島県商工団体連合会事務局長)に、「中小企業・小規模振興基本条例をもとに自治体と共同で地域づくり」をお話いただきました。本市においても、中小企業条例を生かしたまちづくりはどうしても必要だと、あらためて感じさせられました。 今回の分科会・講座で得たことを、地域の皆さんのお役に立てるよう、今後の議員活動に生かしてまいります。				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	研修参加費			10,000	
	合 計			10,000	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 杉本 理

整理 番号	2	項目	1. 調査研究費 ②. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和2年7月29日(水)				
相手方・ 調査先等	「自治体議会特別セミナー高知」(主催:自治体議会研究所)				
場 所	高知県立ふくし交流プラザ(高知市)				
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感等 を記入)	高知県立ふくし交流プラザで開催された、「2020年地方議会特別セミナー高知議員の資質向上と政務活動費活用策」(主催:自治体議会研究所)を受講してまいりました。 講師は、元議会事務局員ということもあり、非常に実践的で、議員の心情もよく分かっておられる方で、終始和やかにお話をされました。 政務活動費の成り立ちや、必要性、活用の仕方など、多岐にわたりお話をいただきました。 賛否様々な意見のある政務活動費ですが、原資は市民の税金であるということを忘れず、しっかりと研修・研鑽に努めなければと、決意を新たにしました。				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	後免町～ はりまや橋	電車	480円×2(往復)	960	
	堺町～朝倉第二 小学校前	バス	400円×2(往復)	800	
	研修参加費			5,000	
	日 当				
	その他				
	合 計			6,760	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 杉本 理

整理 番号	3	項目	1. 調査研究費 ②. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和2年9月27日(日)				
相手方・ 調査先等	2020年度高知自治体問題研究所総会 特別報告「3密を避ける避難所対策」 (主催: 高知自治体問題研究所)				
場 所	高知共済会館(高知市)				
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感等 を記入)	南海トラフはもちろん、毎年のように起こる豪雨災害。もちろん私たちの南国市も他人ごとではないと思い、今回の特別報告を受講してまいりました。 講師は、高知県四万十町危機管理課の芝野富也氏。四万十町は自然豊かな環境が身近にあることが財産であることの反面、昨今の豪雨・土砂災害の危険性など、大規模災害の発生リスクが高い町でもあります。町では「自助・共助・公助」の三助の連携を軸とした防災の取り組みを行っており、またコロナ禍における避難所運営などにも取り組んでいます。氏からは実際の避難訓練の様子なども交えながら、お話をいただきました。 お話を聞き、住民が躊躇せずに安心して避難できる自治体の役割を、しっかりと考えていく必要性を、あらためて感じました。				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	後免町～ グランド通	電車	480円×2(往復)	960	
	宿泊費				
	日 当				
	その他				
	合 計			960	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。